

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL http://www.inpex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 橘高 公久 (TEL) 03-5572-0233
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	650,478	12.4	344,234	1.8	350,645	△3.6	80,080	△28.1
25年3月期第2四半期	578,505	0.9	337,999	3.0	363,828	9.4	111,382	49.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 163,753百万円(94.1%) 25年3月期第2四半期 84,351百万円(22.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	54.84	—
25年3月期第2四半期	76.27	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,774,957	2,824,991	69.7
25年3月期	3,616,158	2,670,983	68.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期2,629,366百万円 25年3月期2,481,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3,500.00	—	3,500.00	7,000.00
26年3月期	—	3,600.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成26年3月期(予想)の期末配当金については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成26年3月期(予想)の1株当たりの期末配当金は3,600円となります。

(注3) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,268,000	4.2	651,000	△6.1	671,000	△6.6	153,000	△16.4	104.77

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	1,462,323,600株	25年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,966,400株	25年3月期	1,966,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	1,460,357,200株	25年3月期2Q	1,460,357,200株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。なお、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割は実施致しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページを参照してください。

(2) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3,500.00	円 銭 —	円 銭 3,500.00	円 銭 7,000.00
26年3月期	円 銭 —	円 銭 3,600.00			
26年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 3,600.00	円 銭 7,200.00

(注) 平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
4. 参考情報	15
(1) 生産、受注及び販売の状況	15

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は期中平均レートが円安に推移したことにより、売上高は前年同期比719億円、12.4%増の6,504億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比589億円、16.0%増の4,267億円、天然ガス売上高は前年同期比198億円、10.2%増の2,148億円となりました。当第2四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比1,543千バレル、3.7%減少の40,578千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比6,109百万立方フィート、4.0%増加の159,671百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比5,810百万立方フィート、4.7%増加の130,276百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比8百万立方メートル、1.0%増加の788百万立方メートル、立方フィート換算では29,395百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり106.21米ドルとなり、前年同期比3.03米ドル、2.8%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり12.83米ドルとなり、前年同期比1.13米ドル、8.1%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり49円68銭となり、前年同期比3円15銭、6.8%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル98円77銭となり、前年同期比19円28銭、24.3%の円安となりました。

売上高の増加額719億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の減少により113億円の減収要因、販売単価の下落により266億円の減収要因、為替は売上の平均為替レートが円安になったことにより1,167億円の増収要因、その他の売上高は67億円の減収要因となりました。

一方、売上原価は、主に為替が円安に推移したことにより、前年同期比472億円、23.4%増の2,492億円となりました。探鉱費は主に中東・アフリカ地域での探鉱活動が増加したことにより、前年同期比125億円、307.7%増の166億円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比58億円、17.1%増の403億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比62億円、1.8%増の3,442億円となりました。

営業外収益は、権益譲渡益及び持分法による投資利益の減少により、前年同期比209億円、53.2%減の183億円となりました。営業外費用は投資有価証券評価損の減少により、前年同期比14億円、11.1%減の119億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比131億円、3.6%減の3,506億円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比84億円、3.6%減の2,277億円、法人税等調整額は425億円となり、少数株主損益調整前四半期純利益は前年同期比352億円、30.5%減の802億円となりました。少数株主利益は2億円となり、以上の結果、四半期純利益は前年同期比313億円、28.1%減の800億円となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

① 日本

石油製品の販売数量の減少により、売上高は前年同期比13億円、2.5%減の520億円となり、営業利益は探鉱費等の増加により前年同期比29億円、31.7%減の63億円となりました。

② アジア・オセアニア

為替が円安に推移したものの、油価及びガス価の下落に加え、販売数量が減少したことにより、売上高は前年同期比137億円、5.5%減の2,384億円となり、営業利益は円安及び作業費等の増加により前年同期比364億円、23.7%減の1,170億円となりました。

③ ユーラシア(欧州・NIS諸国)

油価は下落したものの、為替が円安に推移したこと及び販売数量の増加により、売上高は前年同期比177億円、48.6%増の541億円となり、営業利益は前年同期比88億円、51.3%増の262億円となりました。

④ 中東・アフリカ

油価は下落したものの、為替が円安に推移したこと及び販売数量の増加により、売上高は前年同期比666億円、28.5%増の3,008億円、営業利益は前年同期比393億円、24.0%増の2,037億円となりました。

⑤ 米州

天然ガスの販売数量の増加により、売上高は前年同期比26億円、118.1%増の49億円となりましたが、探鉱費等の増加により、営業損失は前年同期比26億円、169.7%増の41億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3兆7,749億円となり、前連結会計年度末の3兆6,161億円と比較して1,587億円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、有形固定資産及び無形固定資産の増加により固定資産が2,127億円増加したことによるものです。

一方、負債は9,499億円で、前連結会計年度末の9,451億円と比較して47億円の増加となりました。このうち流動負債は3,552億円で、前連結会計年度末比596億円の減少、固定負債は5,946億円で、前連結会計年度末比644億円の増加となりました。

純資産は2兆8,249億円となり、前連結会計年度末比1,540億円の増加となりました。このうち、少数株主持分は1,956億円で、前連結会計年度末比59億円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の1,998億円から当第2四半期中に減少した資金437億円を差し引いた1,560億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

なお、現金及び現金同等物に係る換算差額により、資金が480億円増加しております。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比394億円減の712億円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が減少したことに加え、売上債権が増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比75億円増の1,884億円となりました。これは主に、権益取得による支出の減少や長期貸付金の回収による収入の増加があったものの、長期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出の増加があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期比178億円増の253億円となりました。これは主に、長期借入れによる収入の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想については、平成26年3月期第2四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成25年8月2日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

通期連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,222,000	615,000	637,000	142,000
今回修正予想(B)	1,268,000	651,000	671,000	153,000
増減額(B-A)	46,000	36,000	34,000	11,000
増減率(%)	3.8	5.9	5.3	7.7

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期	101.7ドル/バレル	上期(実績)	106.5ドル/バレル
	下期	100.0ドル/バレル	下期	100.0ドル/バレル
	通期平均	100.8ドル/バレル	通期平均	103.3ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期	96.9円/ドル	上期(実績)	98.9円/ドル
	下期	95.0円/ドル	下期	95.0円/ドル
	通期平均	95.9円/ドル	通期平均	96.9円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	483,814	573,456
受取手形及び売掛金	117,411	125,046
有価証券	281,642	201,503
たな卸資産	15,409	21,767
その他	223,145	147,426
貸倒引当金	△14,919	△16,604
流動資産合計	1,106,504	1,052,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	102,965	104,323
坑井(純額)	19,777	18,917
機械装置及び運搬具(純額)	71,477	70,028
土地	19,560	19,627
建設仮勘定	359,429	510,441
その他(純額)	11,330	14,969
有形固定資産合計	584,541	738,307
無形固定資産		
のれん	87,840	84,460
その他	292,314	329,973
無形固定資産合計	380,155	414,434
投資その他の資産		
投資有価証券	673,129	550,037
長期預金	287,273	414,864
生産物回収勘定	590,565	636,963
その他	112,773	91,829
貸倒引当金	△793	△842
生産物回収勘定引当金	△112,870	△119,248
探鉱投資引当金	△5,119	△3,985
投資その他の資産合計	1,544,957	1,569,619
固定資産合計	2,509,654	2,722,361
資産合計	3,616,158	3,774,957

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,401	46,070
短期借入金	8,560	14,377
未払法人税等	152,681	76,736
探鉱事業引当金	26,856	11,161
役員賞与引当金	127	61
資産除去債務	3,812	3,575
その他	181,536	203,295
流動負債合計	414,976	355,277
固定負債		
長期借入金	466,908	511,357
退職給付引当金	8,580	8,687
事業損失引当金	3,705	3,853
特別修繕引当金	277	261
資産除去債務	13,581	14,980
その他	37,144	55,548
固定負債合計	530,198	594,688
負債合計	945,174	949,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	679,287
利益剰余金	1,375,106	1,442,409
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,339,956	2,407,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,741	52,858
繰延ヘッジ損益	16,243	△20,736
為替換算調整勘定	90,350	189,986
その他の包括利益累計額合計	141,336	222,108
少数株主持分	189,691	195,624
純資産合計	2,670,983	2,824,991
負債純資産合計	3,616,158	3,774,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	578,505	650,478
売上原価	201,981	249,245
売上総利益	376,523	401,232
探鉱費	4,090	16,678
販売費及び一般管理費	34,433	40,319
営業利益	337,999	344,234
営業外収益		
受取利息	3,101	8,783
受取配当金	2,017	2,198
持分法による投資利益	2,821	—
権益譲渡益	22,743	—
為替差益	472	—
その他	8,131	7,389
営業外収益合計	39,287	18,372
営業外費用		
支払利息	585	1,140
持分法による投資損失	—	3,442
生産物回収勘定引当金繰入額	3,239	416
探鉱事業引当金繰入額	2,251	620
投資有価証券評価損	4,924	—
為替差損	—	1,261
その他	2,459	5,080
営業外費用合計	13,459	11,961
経常利益	363,828	350,645
税金等調整前四半期純利益	363,828	350,645
法人税、住民税及び事業税	236,261	227,771
法人税等調整額	12,031	42,584
法人税等合計	248,293	270,356
少数株主損益調整前四半期純利益	115,534	80,288
少数株主利益	4,152	207
四半期純利益	111,382	80,080

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	115,534	80,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,561	18,115
繰延ヘッジ損益	△7,086	△20,887
為替換算調整勘定	△15,088	98,306
持分法適用会社に対する持分相当額	553	△12,068
その他の包括利益合計	△31,183	83,465
四半期包括利益	84,351	163,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,216	160,852
少数株主に係る四半期包括利益	4,135	2,900

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	363,828	350,645
減価償却費	25,968	23,958
のれん償却額	3,380	3,380
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	4,575	5,892
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	125	△15,898
退職給付引当金の増減額(△は減少)	40	122
その他の引当金の増減額(△は減少)	523	765
受取利息及び受取配当金	△5,119	△10,982
支払利息	585	1,140
為替差損益(△は益)	△1,240	6,040
持分法による投資損益(△は益)	△2,821	3,442
権益譲渡益	△22,743	—
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	26,304	30,903
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△4,606	△20,937
売上債権の増減額(△は増加)	27,313	△8,701
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,447	△6,525
仕入債務の増減額(△は減少)	1,741	4,819
その他	△22,870	△15,775
小計	390,538	352,288
利息及び配当金の受取額	7,931	10,600
利息の支払額	△617	△952
法人税等の支払額	△287,199	△290,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,652	71,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△64,175	△70,032
定期預金の払戻による収入	57,763	98,409
長期預金の預入による支出	—	△296,390
長期預金の払戻による収入	5,000	15,000
有形固定資産の取得による支出	△67,987	△139,149
有形固定資産の売却による収入	57	263
無形固定資産の取得による支出	△658	△2,366
有価証券の取得による支出	△2,600	—
有価証券の売却及び償還による収入	157,184	179,680
投資有価証券の取得による支出	△23,134	△10,275
投資有価証券の売却及び償還による収入	26,428	62,433
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△41,271	△53,743
短期貸付金の増減額(△は増加)	749	△3,190
長期貸付けによる支出	△91,658	△17,333
長期貸付金の回収による収入	50	74,368
権益取得による支出	△157,634	△27,076
権益譲渡による収入	17,165	—
その他	3,740	914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180,979	△188,489

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	654
長期借入れによる収入	20,939	36,403
長期借入金の返済による支出	△1,999	△1,887
少数株主からの払込みによる収入	7,134	6,954
配当金の支払額	△14,610	△12,775
少数株主への配当金の支払額	△3,939	△3,939
その他	△17	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,506	25,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,081	48,082
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72,901	△43,793
現金及び現金同等物の期首残高	249,233	199,858
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	439	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△858	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	175,913	156,064

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	53,415	252,207	36,402	234,204	2,275	578,505	—	578,505
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	53,415	252,207	36,402	234,204	2,275	578,505	—	578,505
セグメント利益又は損失 (△)	9,283	153,453	17,360	164,319	△1,537	342,879	△4,879	337,999

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,879百万円は、セグメント間取引消去113百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,992百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	52,099	238,430	54,106	300,879	4,961	650,478	—	650,478
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	52,099	238,430	54,106	300,879	4,961	650,478	—	650,478
セグメント利益又は損失 (△)	6,340	117,026	26,258	203,715	△4,145	349,195	△4,961	344,234

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,961百万円は、セグメント間取引消去113百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,074百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

株式の分割、単元株制度の採用

当社は、平成25年5月10日開催の取締役会、平成25年6月25日開催の第7回定時株主総会及び必要な種類株主総会の決議に基づき、平成25年10月1日付で、普通株式の株式分割及び普通株式と甲種類株式について単元株制度の採用を実施いたしました。

1. 株式分割及び単元株制度の採用の目的

当社は、東京証券取引所市場第一部上場企業の投資単位として一般的な価格帯を意識し、当社株式の投資単位の引き下げにより、個人投資家をはじめとする幅広い投資家層が当社株式により一層投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大を図ることを目的として、普通株式1株につき400株の割合をもって株式分割を行うことといたしました。

また、全国証券取引所の「売買単位の集約に向けた行動計画」において示されている内容を踏まえ、普通株式の単元株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これらの取り組みにより、当社株式の投資単位あたりの金額は、株式分割及び単元株制度採用前の4分の1となりました。

なお、甲種類株式(非上場)につきましては、株式の分割を実施せず、単元株式数を1株といたしました。

2. 株式の分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年9月30日(月)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき400株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	普通株式	3,655,809株
	甲種類株式	1株
	合計	3,655,810株
今回の分割により増加する株式数	普通株式	1,458,667,791株
株式分割後の発行済株式総数	普通株式	1,462,323,600株
	甲種類株式	1株
	合計	1,462,323,601株
株式分割後の発行可能株式総数	普通株式	3,600,000,000株
	甲種類株式	1株
	合計	3,600,000,001株

(3)分割の日程

基準日公告日	平成25年9月13日(金)
基準日	平成25年9月30日(月)
効力発生日	平成25年10月1日(火)

3. 単元株制度の採用

(1)新設する単元株式の数

「2. 株式の分割の概要」の効力発生日をもって単元株制度を採用し、普通株式の単元株式数を100株、甲種類株式の単元株式数を1株としました。

(2)新設の日程

効力発生日	平成25年10月1日(火)
-------	---------------

4. その他

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における1株当たり情報はそれぞれ以下のとおりとなります。

1株当たり四半期純利益

前第2四半期連結累計期間 76円27銭

当第2四半期連結累計期間 54円84銭

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
日本	原油	0.6百万バレル (日量3.4千バレル)	0.6百万バレル (日量3.3千バレル)
	天然ガス	20.4十億CF (日量111.7百万CF)	20.2十億CF (日量110.3百万CF)
	小計	4.5百万BOE (日量24.4千BOE)	4.4百万BOE (日量24.0千BOE)
	石油製品	111.8千kl (703.3千バレル)	—千kl (—千バレル)
	ヨード	205.6t	225.4t
	発電	84.6百万kWh	113.8百万kWh
アジア・オセアニア	原油	11.8百万バレル (日量64.5千バレル)	8.5百万バレル (日量46.3千バレル)
	天然ガス	116.9十億CF (日量638.9百万CF)	116.8十億CF (日量638.3百万CF)
	小計	34.0百万BOE (日量185.6千BOE)	30.5百万BOE (日量166.4千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	4.7百万バレル (日量25.5千バレル)	4.8百万バレル (日量26.4千バレル)
中東・アフリカ	原油	28.5百万バレル (日量155.8千バレル)	30.6百万バレル (日量167.2千バレル)
米州	原油	0.1百万バレル (日量0.5千バレル)	0.2百万バレル (日量1.3千バレル)
	天然ガス	12.9十億CF (日量70.3百万CF)	18.7十億CF (日量102.0百万CF)
	小計	2.4百万BOE (日量13.1千BOE)	3.5百万BOE (日量19.3千BOE)
合計	原油	45.7百万バレル (日量249.6千バレル)	44.8百万バレル (日量244.5千バレル)
	天然ガス	150.2十億CF (日量821.0百万CF)	155.7十億CF (日量850.6百万CF)
	小計	74.0百万BOE (日量404.3千BOE)	73.8百万BOE (日量403.4千BOE)
	石油製品	111.8千kl (703.3千バレル)	—千kl (—千バレル)
	ヨード	205.6t	225.4t
	発電	84.6百万kWh	113.8百万kWh

(注)1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。

2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。

3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から9月30日の実績となっております。

5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第2四半期連結累計期間は原油61.0百万バレル(日量333.2千バレル)、天然ガス209.9十億CF(日量1,146.7百万CF)、合計100.6百万BOE(日量549.8千BOE)、当第2四半期連結累計期間は原油60.2百万バレル(日量328.9千バレル)、天然ガス211.1十億CF(日量1,153.4百万CF)、合計99.8百万BOE(日量545.1千BOE)となります。

6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。

8 ヨードは、他社への委託精製によるものではありません。

9 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

国際石油開発帝石㈱（1605）平成26年3月期第2四半期 決算短信

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	3千バレル	27	383千バレル	4,074
	天然ガス (LPGを除く)	29,096百万CF	36,275	29,395百万CF	39,126
	LPG	131千バレル	1,484	4千バレル	32
	その他		15,626		8,865
	小計		53,415		52,099
アジア・オセアニア	原油	10,710千バレル	96,928	6,552千バレル	67,445
	天然ガス (LPGを除く)	112,423百万CF	142,297	110,432百万CF	160,175
	LPG	2,023千バレル	12,982	1,459千バレル	10,809
	小計		252,207		238,430
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	4,169千バレル	36,402	4,978千バレル	54,106
中東・アフリカ	原油	27,205千バレル	234,204	28,644千バレル	300,879
米州	原油	33千バレル	293	21千バレル	270
	天然ガス (LPGを除く)	12,043百万CF	1,981	19,844百万CF	4,691
	小計		2,275		4,961
合計	原油	42,120千バレル	367,857	40,578千バレル	426,776
	天然ガス (LPGを除く)	153,562百万CF	180,554	159,671百万CF	203,993
	LPG	2,154千バレル	14,467	1,462千バレル	10,842
	その他		15,626		8,865
	合計		578,505		650,478

(注)1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から6月の業績を第2四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。

4 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プラタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、LNGとして日本をはじめ、韓国、台湾等の需要家へ販売しております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
プラタミナ	106,523	18.4	102,928	15.8